

平成 28 年度

9 月補正予算(案)の概要



1 補正予算の概要

今回の補正予算は、当初予算編成後の情勢変化により、真に予算補正を必要とするものに加え、調整により一定の整理がついたもので、年度途中であっても予算措置の必要があるものについて補正を行うものです。

その他にも、4月1日付け人事異動に伴う人件費の予算調整や過年度分の事業費精算に伴う各種返還金についても補正予算を計上しています。

一般会計の主なものでは、地方創生推進交付金を活用した「ひと」と「しごと」のハブ構築による地域未来創造事業、「地域商社とデジタル発信・検証によるローカルブランディング事業」や単独事業の「長門湯本温泉観光まちづくり事業」などの経費を新たに計上しています。

また、特別会計のうち湯本温泉事業特別会計では「湯本温泉配湯タンク整備事業」に係る経費を新たに計上しています。

2 補正予算の規模

● 補正予算額

(単位:千円)

会計名	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
一般会計	21,720,737	311,047	22,031,784
特別会計	10,894,994	78,337	10,973,331
国民健康保険事業	6,020,190	17,954	6,038,144
湯本温泉事業	93,234	15,000	108,234
介護保険事業	3,968,429	44,818	4,013,247
後期高齢者医療事業	660,680	565	661,245
合 計	32,615,731	389,384	33,005,115

※特別会計には、今回補正のない電気通信事業特別会計の予算額も含む

※一般会計補正予算額のうち人件費7,416千円、各種返還金99,681千円、他会計繰出金等12,894千円

※特別会計補正予算額のうち人件費▲2,844千円、各種返還金66,181千円

● 補正予算の財源

(単位:千円)

会計名	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	合計
一般会計	31,567	▲ 1,055	34,200		246,335	311,047
特別会計	313	157			77,867	78,337
国民健康保険事業					17,954	17,954
湯本温泉事業					15,000	15,000
介護保険事業	313	157			44,348	44,818
後期高齢者医療事業					565	565
合 計	31,880	▲ 898	34,200	0	324,202	389,384

● 債務負担行為

(単位:千円)

事項	会計	期間	限度額	所管
仙崎地区グランドデザイン駐車場等整備工事	一般	平成28年度 ～平成29年度	107,000	経済観光部 成長戦略推進課
三隅地区工場用地整備工事	一般	平成28年度 ～平成30年度	130,000	経済観光部 商工水産課
長門湯本温泉観光まちづくり測量設計業務	一般	平成28年度 ～平成29年度	22,700	経済観光部 観光課
湯本温泉配湯タンク設計業務	温泉	平成28年度 ～平成29年度	28,000	経済観光部 観光課

3 主な事業

※上段()書きは補正前の額

● 一般会計（新規4件、拡充1件）

(総務費)

新規	「ひと」と「しごと」のハブ構築による地域未来創造事業 (総合戦略推進事業)	37,000 千円 ■経済観光部 商工水産課
目 的	若者が望む地元での就職・創業を実現するため、産官学労金が連携し、地場産業の魅力(情報)と人をつなぐハブ機能を形成することで、多種多様な「ひと」と「しごと」を結びつけ、生産年齢人口の流出防止を図る。	
事業概要	※ 参考イメージ図 (5頁) 地元高校生等を対象にした「人材」育成や地場産業従事者を対象としたスキルアップ研修、移住・創業等に関する情報提供を行うとともに、市内空き施設を改修してひとづくりの拠点施設を整備する。 1. 「ひと」「しごと」オーガナイズ事業 19,000千円 ・ 地域ひとづくりの中核を担う組織構築に向けた体制整備 ・ キャリア教育、体験・交流型学習等の企画・開催 ・ 地場産業従事者のスキルアップ、就業・創業支援、産業担い手育成研修の開催 2. 地域しごとセンター(仮称)整備事業 18,000千円 ・ 旧ミラノ建物改修のための実施設計、体験・実践研修用施設整備に向けた旧ミラノ工場施設の耐震診断、PC等研修・学習用備品の整備	
		予算書掲載頁 31

新規

地域商社とデジタル発信・検証によるローカルブランディング事業

(総合戦略推進事業)

25,993 千円

■経済観光部 観光課、商工水産課

目 的

「ながとデジタルマーケティング」として、ＩＣＴを活用した戦略的情報発信を行い、効果の検証を定量的に積み重ねることで、大都市圏を中心とした物産ブランドと本市への観光客を中心とした地域ブランドの両面から「ながとブランド」を創り上げる。

事業概要 ※参考イメージ図(6頁)

ＩＣＴを活用した戦略的情報発信を行い、検証を積み重ねることで、情報発信のターゲットやマーケットニーズを明確にし、効果的な観光宣伝や商品開発、販路開拓に繋げる。

- 1.戦略的情報発信強化事業 18,000千円
デジタルマーケティングの手法を取り入れ、効果的な観光宣伝等を行う。
- 2.農商工連携推進支援事業(既存予算の組替) 4,420千円
- 3.観光基本計画策定事業(既存予算の組替) 3,573千円

予算書掲載頁 31

(商工費)

新規

長門湯本温泉観光まちづくり事業

10,700 千円

■経済観光部 観光課

目 的

長門湯本温泉観光まちづくり計画(仮称)に基づき、温泉街の整備に早期着手することで、湯本温泉の早期再生を図る。

事業概要

温泉街整備の早期着手に向けて、駐車場、階段通路、広場等の測量、地質調査及び基本設計を行う。

- 測量・地質調査・基本設計業務(平成28～29年度)
- ・地形測量3.8ha、用地測量1.6ha
 - ・地質調査(ボーリング、CBR試験)
 - ・基本設計(駐車場、国道進入路、階段通路、広場)

予算書掲載頁 51

新規

長門湯本温泉観光まちづくり推進体制構築支援事業

9,639 千円

■経済観光部 観光課

目 的

長門湯本温泉観光まちづくり計画(仮称)に基づき、今後の観光まちづくりを推進する体制を構築することで、全体的に調和のとれた観光まちづくりや開発、民間主体による観光地経営を進める。

事業概要

観光地域づくりを担う長門市観光コンベンション協会が中心となり、地域や専門家等を交えた推進協議会を立ち上げ、今後の観光まちづくりに向けた事業の具体的な計画や内容等を検討する。

- 1.長門湯本温泉観光まちづくり推進体制構築支援事業費補助金 9,000千円
 - ・事業主体 長門市観光コンベンション協会
 - ・事業内容 検討項目の洗い出し、検討体制の構築(地域、市内事業者、プロデューサー、景観デザイナー等)、事業推進スキームの構築、先行事例調査・視察等
- 2.打ち合わせ等職員旅費 639千円

予算書掲載頁 51

■その他の主な事業

(衛生費)

拡充

予防接種事業（B型肝炎ワクチン定期接種化）

（ 91,743千円 ）

3,352千円

■ 市民福祉部 健康増進課

(農林水産業費)

仙崎地区グラウンドデザイン整備事業

（ 642,638千円 ）

36,000千円

■ 経済観光部 成長戦略推進課

(商工費)

三隅地区工場用地整備事業

（ 178,572千円 ）

55,470千円

■ 経済観光部 商工水産課

● 特別会計（新規 1 件）

(湯本温泉事業特別会計)

新規	湯本温泉配湯タンク整備事業	15,000 千円 ■ 経済観光部 観光課
目 的	湯本温泉の配湯事業は、源泉配湯方式切り替え後に需要湯量が増加しており、今後、温泉旅館の進出も予定されていることから、湯本温泉3号泉源のタンクを新設することで、温泉の安定供給を図る。	
事業概要	現状の配湯状況や将来的な配湯量等を把握・検証したうえで、市有地における湯本温泉3号泉源タンク整備に係る設計を行う。	
事業計画	平成28～29年度 基本・実施設計（管網解析、地質調査、ポンプ施設・配湯管新設詳細設計含む） 平成29～30年度 湯本温泉3号泉源タンク新設工事	
	予算書掲載頁 79	

「ひと」と「しごと」のハブ構築による地域未来創造事業

将来像

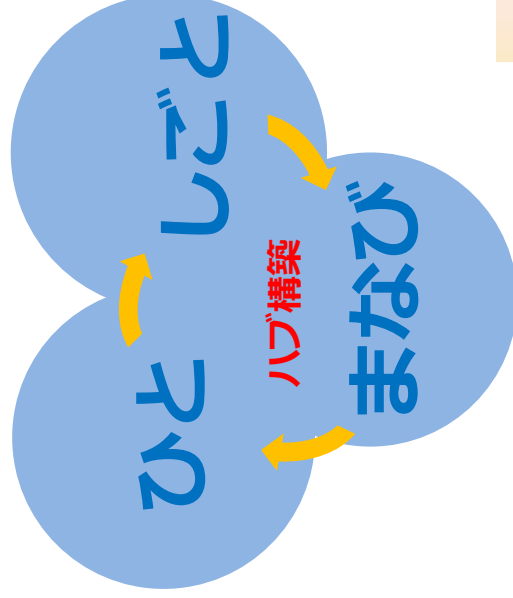
「ひと」と「しごと」のハブとなる「まなび」の場を通じ、地域の未来を自ら創造できる人材を創出する

地域の人財

高校生、女性、移住希望者、やる気のある若者 等

(課題)

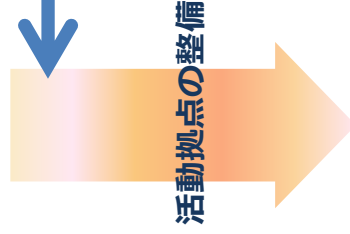
- 魅力ある将来像を地域で描くことが難しい。【地域でのやりがい】
- 働き場所への不満感
- 「希望する仕事」づくり
- スキルアップの機会が限定的。
- 新たにチャレンジしても孤立してしまう。



魅力ある地場産業

(課題)

- 人財不足や従業員の高齢化
- 人財育成環境が整っていない
- 魅力ある高校があるのに担い手が集まらない
- 地域の魅力を伝えきれていない



- 「ひと」と「しごと」をつなぐ情報拠点
- 市内企業の人材育成拠点
- 新たな創業のチャレンジ拠点
- 魅力ある地場産業を育成するための担い手研修拠点

産学官地が連携して地域ひとづくりの中心となるNPO法人を設立

生産年齢人口の定着定着を図り、魅力ある地場産業を育成

地域商社とデジタル発信・検証によるローカルブランディング事業（例）

